

第六十七回帝國議會
衆議院

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案委員會議錄(速記)第六回

會議

昭和十年三月九日(土曜日)午後一時四十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川口 義久君

理事士倉 宗明君 理事木村 正義君

理事眞鍋 勝君

佐々木家壽治君

山下 谷次君

原 淳一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

文部大臣 松田 源治君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 添田敬一郎君

文部參與官 山根 儀重君

文部省普通學務局長 下村 壽一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 中村 繼男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中

改正法律案(政府提出)

義務教育費臨時補充金交付法案(野田文一郎君外四名提出)

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(政府提出)

○川口委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○木村委員 是ハ先日大臣ガ御演說ニナツタ所デスガ、參與官モ普通學務局長モ御聽

ニナツテ居ッタノデアラウト思ヒマスガ、御訂

正ヲ願ハナクチャナラヌト思ヒマスノハ、

先日本會議デ私ガ特別町村ノ數ヲ御尋致シ

マシタ所、文部大臣ハ「全國ノ町村數ガ一

萬一千二百九十六ノ中デ八千二百アルノデ

アリマス」ト斯ウ御答デアリマシタガ、此

數字ハ御訂正ニナル必要ハナイデセウカ

○下村政府委員 正確ニハ八千四百ト云

フコトニナルノデスケレドモ、約トカ何ト

カ云フコトヲ言ハレタノデハナイデセウ

カ、ドウデセウカ、ソレハ私モハッキリ記憶

致シテ居リマセヌガ……

○木村委員 イヤ斯ウ云フコトニナツテ居

リマス、速記録ニ依リマス、ソレカラ

特別町村ノ數ハ、全國ノ町村數ガ一萬一千

二百九十六ノ中デ八千二百アルノデアリマ

ス」ト斯ウナツテ居ルノデアリマスガ、全體

ノ町村數、特別町村數ヲ御訂正ニナル必要

ハアリマセヌカ

○下村政府委員 全體ノ町村數ハ一萬千二

百七十四トナツテ居リマス

○木村委員 ソレダカラ御訂正ガ必要ダラ

ウト思フ

○下村政府委員 ソレカラ特別町村ノ方ハ

八千四百四十デアリマス、ソレヲ約二百ト言

ハレマシタカ、其邊ハハッキリシテ居リマセ

ヌガ……

○木村委員 サウスルト今普通學務局長ノ

言ハレタ通りト思ヒマス、ソコデ全體ノ町

村數ニ於テモ、大臣ノ御話ニナツタノハ間

違ツテ居ルン、特別町村數モ間違ッテ居リマ

スカラ、是ハ御訂正ニナル必要ガアラウト

思ヒマス、私ノ調べタ所デハ町村數ガ一萬

一千二百七十四デ、其中特別町村ノ數ガ八

千四百四十、斯ウ云フコトデアラウト思フ、

ソコデ更ニ御伺ヲ致シタイノデスガ、此特

付託議案

市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案(政府提出)
義務教育費臨時補充金交付法案(野田文一郎君外四名提出)
公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(政府提出)

別町村數ハ十年モ大體此見當ト見マシテ
差支ナイデアリマセウカ

○下村政府委員 十年度ノ見込モ九年度ト

大體同數ノ見込デアリマス

○木村委員 此際九年度ニ各府縣カラ特別

町村認定ヲ申請致シマシタ町村數ヲ、御伺

致シタイト思ヒマス

○下村政府委員 ソレハ八年度マデハ調べ

デアリマスケレドモ、マダ九年度ノハ統計

ニ致シテ居リマセヌカラ、直グ調べテ御知

ラセ致シタイト思ヒマス

○木村委員 ソレデハ是ハ出來マスナラバ

各府縣別ニシテ戴ケレバ結構ダト思ヒマス

カラ、材料ヲ出シテ戴キタイト思ヒマス、

ソレカラ全町村ガ特別町村トナレルモノ

ハ、東北ト沖繩縣ダケデアリマセウカ、他

ニ尙ホ府縣ガアルデアリマセウカ御尋致シ

マス

○下村政府委員 木村君ノ御尋ノ外ニ北海

道ト鳥取縣ガ入ッテ居リマス

○木村委員 先日文部大臣ハ豫算分科會ニ

於テ、貧弱町村ト申シタノハ災害町村ノ誤

デアッタト、斯ウ御訂正ヲナシマシテ、サウシテ災害町村ニハ大體前年度ト同ジヤウニ交付ガ出來ルト云フ事ヲ申サレマシタガ、此事ヲ一ツ詳シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、今迄頂戴シテ居ル材料デハ、災害町村ガ前年度通りニ貫ヘマスルカドウカト云フ事ハ、是ハ一向ハッキリ致シマセヌカラ、其事ヲ證明スル御説明ヲ御願致シタイト思ヒマス

○下村政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマスガ、細カイ計數ニナリマシテ御聽苦イ點ガアラウト思ヒマスケレドモ、極ク大體ノ事ヲ申上ゲタイト思ヒマス、昭和九年度ニ於キマシテ市町村立ノ尋常小學校費臨時補助法ノ金ヲ、ドウ云フ風ニ割リマシタカト云フ實績ニ付テ大體申上ゲタイト思ヒマス、大體ノ所法ノ第二條ノ配當金額、即チ是ハ特別町村、普通町村合セテ配當致ス金デアリマスガ、其金ガ普通町村ニ對シテハ二百四萬七千圓バカリ要リマスルシ、ソレカラ特別町村ニ對シマシテハ五百六萬二千圓程行クコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ特別町村、普通町村一般ニ配當致スノデアリマス、ソレカラ同法第三條ノ特別町村ニ對シテ交付致シマス金ガ四百八十萬圓デアリマス、ソコデ之ヲ尋常小學校ノ教員俸

給一圓當リニ當ツテ見マスルト云フト、第二條ノ金ガ普通町村ニ對シテハ、一圓ニ付テ五錢九厘ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ特別町村ニ對シテハ六錢ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ更ニ特別町村ニ對シテハ第三條ノ交付金ガアリマスカラ、ソレガ教員俸給一圓當リニ對シテ幾ラ行ツタカト言ヒマス、五錢八厘行ツテ居ルノデアリマス、即チ特別町村ニ對シテハ教員俸給一圓當リニ付テ、十一錢八厘ノ割デ配當ヲサレテ居ル、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス、ソコデ昭和十年度ノ推定ニナリマスガ、六百萬圓ダケデアリマストドウ云フ風ニナルカト云フト、特別町村ニ對シテは二條ノ金ト三條ノ金ヲ合セマシテ、一圓當リニ付テ六錢二厘ト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ特別町村ノ中ノ災害町村ニ付キマシテハ之ヲ前年通り、即チ一圓ニ付テ十一錢八厘マデ率ヲ増スト云フコトニナリマス、其金ガ總計致シマシテ二百九十九萬五千餘圓ニナルノデアリマス、約三百萬圓、ソレダケ附加ヘマスト云フト、特別町村ノ中デ災害ヲ受ケタモノ、要スルニ災害町村ト言ツタ方ガ適當カト思ヒマスカ、ソレニハ前年通り一圓當リニ付テ十一錢八厘ノ補助ガ出來ル、斯ウ云フ目安ヲ立

テマシタノデアリマス

○木村委員 只今ノ後ノ方ノ御説明ヲモウ少シ伺ハヌト、災害町村ノ内譯ガドウナツテ居ルカ御伺シナイト、ハッキリ致シマセヌガ、今ノ御説明デ言ヘバ、昭和九年度ハ特別町村ノ小學校教員俸給一圓ニ對シテ六錢デアルト、斯ウ御説明ニナリマシタガ、是ガ六百萬圓ニナリマスナラバ、恐ラク三錢ニナルダラウト思フ、サウシテソレヲ結局十一錢八厘デアリマシタカ、同ジヤウニシタイ、斯ウ云フコトニナリマスルト、八錢八厘、之ヲ三百萬圓デ賄ツテ行ク、斯ウ云フ結論ニナルヤウニ御聽キ致シマス、ソコデ災害町村ガドウナツテ居ルカ、數ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ御説明願ヒタイ

○下村政府委員 災害町村ハ私ノ方ノ調デアリマスガ、此調ハ具體的ノ調ト、達觀的ノ調ト併セテ用ヒタノデアリマス、ソレニ依リマス、昨年ハ全國各方面ニ互ツテ非常ニ災害ガアリマシタカラ、五千四百四十三箇町村ト云フモノガ災害町村、約全國町村ノ半分、少シ數ニ於テ過大ナ見積ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、ソレダケハ災害ヲ受ケタ、或ハ飢饉暴落ニ依ツテ町村財政ノ窮迫ヲ來シタ町村デアル、斯ウ看做シタ譯デアリマス、此五千四百四十三ノ町村ニ對シテハ、

先刻申上ゲマシタヤウニ、尋常小學校教員俸給一圓當リニ付テ十一錢八厘ノ補助ヲシテヤラウ、斯ウ云フ算法ヲ採リマシタ次第デアリマス

○木村委員 私ハ災害町村ニ關スル材料ヲ要求シテ置キマシタガ、是ハ御出シ願ヘルデセウカ

○下村政府委員 昨日委員課ノ方ヘ差出シタヤウニ申シテ居リマスガ、マダ屆キマセヌカ

○木村委員 昨日戴イタノハ是ハ特別町村標準ノ第二號該當ノ特別町村ノ事由別調デ、各府縣ノ災害町村調ト云フモノガ一ツ出テ居ツタ答デスガ……

○下村政府委員 ソレハコチラデ聽キ洩シタカモ存ジマセヌガ、御要求ガアツタカドウカ、ハッキリ記憶致シテ居リマセヌ

○木村委員 災害町村數及ビ災害町村ニ對スル負擔金及ビ補助金交付調道府縣別ト云フノガ、最初ノ時ニ出テ居ル答デアリマス

○下村政府委員 出テ居ラヌヤウデシタラ、出來ルダケ取調ベテ差上ゲマス

○木村委員 ソレカラ是モ本會議デ御尋致シマシタガ、高等小學校ノ廢止、青年學校ノ普通科二年ニ變更ノ問題、結局國庫補助ガ減額サレテ、其減額ヲドウスルカト云フ

一ツノ方法トシテ——マダ他ニモアルト思ヒマスガ、一ツノ方法トシテ町村當局ガ左様ナ計畫ヲ持ッテ來タ時分ニハ、文部大臣ハ町村財政ノ都合ト云フコトデ、已ムヲ得ナイト御認メニナルカドウカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ文部大臣ハ、高等小學校ノ廢止ト云フコトハ、實現サレザル狀況デアルト考ヘマスト答ヘラレ、青年學校ニ付テノ御答辯ハナカッタノデアリマスガ、是ハ一括シテモウ少シ高等小學校ノ廢止問題、青年學校普通科二年ニ變更スルト云フヤウナコトニ付テノ御所見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○山柘政府委員 財政ノ都合ニ依ッテ高等小學校ガ廢止セラレルト云フコトノナイヤウニ、最善ノ努力ヲスルト云フコトハ、大臣カラ御答ヲ致シタ通りデアリマス、第二ノ御質問ハ高等小學校ヲ青年學校ニ振替ヘルモノガアッタラドウスルカ、斯ウ云フコトデアラウト思ヒマス、元來青年學校ハ晝間勤勞シツ、アル者ノ爲ニ、餘暇ヲ割イテ勉強セシムル爲ノ施設デアリマス、高等小學校ハ晝間通年制ニ勉強スル者ノ爲ニ設ケタ制度デアリマスカラ、制度自體ノ性質ハ異ッテ居リマスガ、從來トテモ實業補習學校ガ今日ノ青年學校ト趣旨ヲ同ジク致シマスケレ

ドモ、實際高等小學ヲ廢止シテ、實業補習學校ノ規定ヲ利用シテ學校ヲ經營シテ居ル所ガ無キニシモアラズデアリマス、サウ云フ狀態ハ今後青年學校ニ於キマシテモ、土地ノ狀況ニ於テサウ云フ施設ヲ爲ス場合ガアルカモ知レマセヌガ、之ヲ私共ノ方デ特ニサウ云フ風ニ變ヘルヤウニ獎勵シヨウトカ、變ヘヨウトシテモ斷ジテ相成ラヌトカ云フ風ナ窮屈ナコトニハ考ヘナイデ、土地ノ狀況ニ照ラシテ、其土地ノ青年ヲ教育スルノニ最モ適切デアルト云フノナラバ、同じク教育ヲシテ行クノデアリマシテ、其方法ガ違フダケデアリマスカラ、サウ云フ計畫ガアリマスレバ、文部省ニ於テハ特ニ是非之ヲ阻止シヨウト云フ考ハ有ッテ居ナイノデアリマス

○木村委員 私ノ御尋シタ所ト全然異ッタ御答ヲ爲サツテ居ルノデアリマスガ、私ハサウ云フヤウナ土地ノ狀況トカ、教育上ノ理由ニ依ッテ、高等小學校ヲ廢止シテ青年學校ニシタイ、斯ウ云フコトヲ御聽キシテ居ルノデアリマセヌ、高等小學校トシテ是非置キタイ、併ナガラ補助費ガ此度千二百萬圓ヲ九百萬圓ニ減額サレテ、其結果トシテ町村財政ガ困ル、是デハドウシテモヤッテ行ケナイ、増税モ出來ナイノダ、サウ云フ必要カ

ラ已ムヲ得ズ廢止ヲ致サナクテハ仕方ガナイ、斯ウ云フ所ニ對シテモサウ云フ土地ノ狀況トカ、教育上トカ云フ理由デハナシニ是非高等小學校ヲ存置シタイケレドモ、急ニ文部省デ減額ヲサレタト云フヤウナコトガ理由ニナッテ、財政上カラサウ以フ問題ガ起ツタ時ニハ、ドウ云フ御處置ヲ御執リニナルカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス

○山柘政府委員 今ノ御話ハ青年學校ノ純粹ナ意味ニ於テ、餘暇的ニ利用スル場合ニ青年學校ニ編入スル場合ヲ御心配ニナルコト、思ヒマス、サウスレバ晝間通年制デ行者ヲ主トシテ夜間通學サセル組織ニシテモ差支ナイモノカト云フ御趣旨ノヤウニ思フノデアリマスガ、サウデナケレバ青年學校ヲ晝間通年制ニ致シマスレバ同様な經費ガ掛カル、寧ロヨリ多クノ經費ガ掛カルノデアリマスカラ、財政ノ都合上晝間通年制ノ青年學校ニ變更スルト云フコトハ財政上ノ利益ニハナラナイ、隨テ夜間若クハ、餘暇ヲ利用スル經營ノ、授業時間ノ少イ簡易ナ學校ニ變更スル、斯ウ云フ御趣旨ノ點デアラウト思フノデアリマス、サウ云フコトニナレバ教育ノ低下ニナルノデアリマスカラ、文部省トシテハサウ云フコトハ極力阻止致スヨウニシナケレバナラヌト思ッテ居

リマス

○木村委員 極力阻止サレルノハ洵ニ結構ダト思フノデアリマスガ、財政上ノ都合デ、詰リ今マデ經常費ニ補助シテ居ッタノヲ、其經常費ヲ減ゼラレルノデアリマスカラ、町村當局トシテハ他ニ歳入増加ノ途ガアレバ兎モ角、又町村當局トシテモ恐ラクサウ云フ方法ヲ講ジマセウケレドモ、其財政ノ都合ガ付カナイト云フ所カラ、教育ノ低下ト云フコトヲ知リツ、サウ云フ結果ニ相成ルト云フコトヲ、文部省ハ致シ方ガナイト御考ニナルノデセウカ、或ハサウ云フ事ノナイヤウニヤッテ行ク御精神デセウカ、其御精神ヲ御伺致シタイ

○山柘政府委員 只今ノ文部省ノ見込デハ、此臨時補助費ノ程度デ、サウ云フ特別ナ重大ナル缺陷ヲ來サズシテ、賄ヘルト云フ見込デ、本案ヲ提出シタノデアリマス、隨テ先日來御質問ノ通り、萬々一新タニ災害ガ起リ、若クハ昨年ノ災害ノ結果トシテ重大ナル缺陷ヲ生ジマシタ場合ニハ、其場合ニ應ジテ適當ナル處置ヲ講ズルト云フコトハ、此間文部大臣カラ答辯致シタ通りデアリマス

○木村委員 只今ノ山柘君ノ御見込ハ、申中サウ云フ風ニ實際ハ參ラヌ場合ガ生ズル

ト思ヒマス、併シ是ハ此處デ彼此レ申シマシテモ致シ方ガアリマセヌカラ、其程度ニ致シテ置キマシテ、高等小學校ノ廢止ニ付テ御伺致シタイ、廢止狀況ナリ、其他當局ノ、私ノ御尋致シマシタコトニ關聯シテノ御所見ヲ御伺致シタイ

○下村政府委員

高等小學校ノ狀況ニ付テ

簡單ニ御話ヲ申上ゲマスガ、最近數年ノ狀況ヲ見マスルト、サウ大シタ異動ハナイノデアリマシテ、之ヲ短期ノ高等小學校ニ付テ申上ゲマス、昭和二年ニハ百四十五校、三年ニハ百四十九校、四年ニハ百五十七校、五年ニハ百六十二校、六年ニハ百六十一校、七年ニハ百五十八校、斯ウ云フヤウナ所ヲ上下シテ居リマス、ソレカラ尋常高等小學校ノ方ニナリマス、是ハ漸次殖エツ、アル趨勢ヲ辿ッテ居ルト申シテモ宜カラウト思ヒマスガ、昭和二年ニハ一萬三千六百五十八校、三年ニハ一萬三千七百八十二校、四年ニハ一萬三千八百七十三校、五年ニハ一萬三千九百七校、六年ニハ一萬三千八百八十八校、七年ニハ一萬三千九百二校ト云フヤウナ譯デ、短期ノ高等小學校ノ方ハ殖エモセズ、減リモセズ、マア幾ラカ減ッテ來ルヤウナ狀態デアリマス、ソレカラ尋常高等小學校ノ方ハ、年々其數ヲ増シテ來ルト

云フヤウナ狀況ニ相成ッテ居ルノデアリマス

ソレカラ高等小學校ヲ廢止シテ、他ノ學校ニ變ヘルヤウナ傾向ガアルカドウカト云フヤウナ御間ガアツカト思フノデアリマスガ、是ハ一律的ニハ申上ゲ兼ネマスノデアリマシテ、其土地ノ狀況ニ依リ、或ハ高等小學校ヲ廢止シテ、極ク簡易ナル實業學校ニスルトカ、或ハ今マデノ農業補習學校ヲ充實致シマシテ、之ニ變ヘルヤウナ所モ無キニシモ非ズデアリマスガ、サウ云フコトガ一般ノ趨勢ニナッテ居ルトカ、或ハサウ云フ傾ガアルト云フコトハナイノデアリマシテ、其土地ノ狀況ニ依リマシテ左様ナ所ガアルノデアリマス、而シテサウ云フ事柄ハ、只今參與官カラモ答辯ヲサレマシタヤウニ、今後ト雖モ有リ得ルコトデアリマシテ、土地ノ狀況ニ依リマシテ、高等小學校ヲ他ノ學校ニ變更スルト云フコトモアラウト思ヒマス、ソレガ自然ナ遷リ變リデアリマスナラバ、文部省ハ之ニ對シテ彼此レ作爲ヲ加ヘルト云フコトハシナイ考デアリマス

ハナイカト云フ御尋デアリマスガ、先刻參與官カラモ御答辯ガアリマシタガ、私モ同様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、前々カラ申シテ居リマスヤウニ、全國ノ約半分ノ町村ニ向ッテハ、昨年通りノ金ヲ交付致シマス、後ハ半分以上ニナリマスガ、其約六千ノ町村ニ對シテハ減ル譯デアリマスガ、其三百萬圓ト云フモノヲ六千ノ町村ニ割當テルノデアリマスカラ、ソレ程大キナ打撃ヲ與ヘルコトハアルマイ、勿論多少ノ打撃ヲ與ヘルコトハ已ムヲ得ヌノデアリマスガ、高等小學校ノ存廢問題ヲ來スヤウナ、ソレ程大ナル財政上ノ打撃ヲ與ヘルコトハ、是ハ有リ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、若シサウ云フヤウナコトガアルナラバ、ソレハ何カ新シイ災害デモ起ルトカ、或ハ其他ノ事故ガ突發シテ、非常ニ豫期以上ニ困ルト云フコトデアレバ、其場合ハ其場合デ考ヘルト云フコトデアリマスカラ、是ガ爲ニ高等小學校ノ存廢ニ影響スルコトハ萬々アルマイ、私ハ樂觀主義デアリマセヌガ、左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○木村委員

今ノ御説明ニ關聯シテ一寸御

同シナケレバナラヌヤウニナリマシタガ、先程御述ニナッタ災害町村ノ五千百何ガシ、之ニハ大體九年度ト同シヤウナ補助ヲスル、サウスルト特別町村ノ數モ、大體九年度ト同様デアルト云フコトデアリマシタカラ、後ニ約三千ノ特別町村ガ殘ル譯デアリマスガ、其三千ノ特別町村ニ付テハ、九年度ニ比シテウント補助ノ金額ガ減ルト思ヒマス、ソレハ何故カト申スト、是マデニ特別町村ニ對スル補助ノ總額ハ、十年度ニ於テハ八百十八萬圓ト御述ベニナッテ居ル、所ガ九年度ハ九百八十六萬圓デアリマスカラ約百七十萬圓減ル、サウシテ災害町村ノ五千百何ガシニハ、九年度ト同シ金額ヲ出サシテ、而モ總額ニ於テ百七十萬圓減ッタルレバ、約三千ノ特別町村ニ對シテハ非常ナ減リ方ヲスルモノト見ナクテハナラヌ、其點ハ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカ、御伺致シテ置キマス

○下村政府委員

只今木村君ノ御尋ニナッ

タ點ハ大體其通りデアリマシテ、災害町村ニ對シテハ成ベク九年度ト同様ノ金額ヲ補助致シタイ、ソレカラ殘リガ彼此レ百萬圓近イモノガアリマスガ、其モノヲ災害町村ニアラザル町村ニ交付スル、而シテ其災害町村ニアラザル町村ノ中ニハ、普通町村ト特別町村トアル譯デアリマスカラ、ソレ等ノ町村ニ對シテハ交付金額ガ減ルト云フコトハ、甚ダ遺憾デアアルガ已ムヲ得ナイノデ

アリマス、併シ出來ルダケノ範圍ニ於テ其百萬圓ヲ分ケルニ付テモ、成ベク特別町村ニ厚イヤウニ致シタイ、普通町村ト申スト何ダカ一人前ノ町村ノヤウデアリマスガ、實ハサウデハナイ、是ハ財政健全町村ナノデアリマス、サウ云フ所ハ極ク小部分ニシテ全國ニ三千カソコロノ確カリシタ町村ガアリマス、サウ云フ所ハ辛抱シテ貰ッテ、成ベク残りノ町村ニヤルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、只今木村君ノ御述ベニナッタヤウナ場合ハ、遺憾デアリマスカ、是ハ已ムヲ得ナイト御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○木村委員 實ハ已ムヲ得ナイト云フコトガ問題デ、今マデ色々聽イテ居ルノデアリマスカラ、實ハ已ムヲ得ナイト云フ御言葉デハ困ル譯デアリマス、ソコデ之ヲドウシタラ宜イカト云フコトヲ、吾々ハ文部當局ト共ニ考ヘタイト云フ精神デ、御聽キシテ居ルノデアリマス、已ムヲ得ナイカラソレデ放ッテ置クト云フ譯ニハ參ラヌデハナイカト云フ精神デ、今マデ御聽キシテ居ルノデアリマス、其已ムヲ得ナイト云フ事實ヲ知レバ、吾々ハ手ヲ束ネテ放任シテ置イテ宜イト云フコトニナラヌノデハナイカ、其已ムヲ得ナイ所ヲ今後如何ニヤッタラ宜シ

イカ、文部當局ト努力シテ、其已ムヲ得ナイコトヲ、已ムヲ得ルヤウニ方法ヲ講ジタラドウカト云フコトガ、此間カラ御聽キシテ居ル主眼點デアリマスカラ、其點ハ能ク御了解ヲ願ッテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、普通學務局長ハ普通町村ニ付テ彼此レト申サレマシタケレドモ、私ハ今普通町村ノコトハ申シテ居リマセヌ、特別町村ノ八千四百四十ノ中デ、災害町村ノ五千百ナニガシヲ引イタ残りノ三千ノ特別町村ガ九年度ニ比スルト、災害町村ニ九年度同様ノ補助ヲ爲サレル關係上、金額ガソチラニ取ラレルノデアリマスカラ、餘程ノ減額ガ起ル、即チ九年度ノ此災害町村ヲ除イタ三千餘ノ特別町村ニ對シテハ、同ジ特別町村デアッテモ、九年度ト十年度ト比較スルト、非常ニソコニ補助ノ額ガ違ッテ來ル、サウ云フ特別町村ハ非常ニ困難ナ地位ニ立ツ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、併シ普通學務局長モ其點ハ御認メニナッテ、洵ニ已ムヲ得ナイト云フヤウナコトヲ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、此點ハ其程度ニ止メテ置キマシテ、アトハ文部大臣、大藏大臣ガ見エテカラ、次ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○中村繼男君 私ハ委員外デスガ、此際義務教育費臨時補充金交付法案ノ提案ノ理由ヲ、御説明致シタイト思ヒマス

○川口委員長 中村君カラ聽クコトニ致シマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○川口委員長 ソレデハ中村君

○中村繼男君 只今質疑應答ガ政府案ニ對シテアッタヤウデアリマスガ、兎ニ角政府ノ本年御提出ニナッテ居リマスノハ、一千二百萬圓ヲ九百萬圓ニ減額スルト云フ案デアリマス、隨テ今ノ質問ノヤウナ災害特別町村ニ對シテハドウスルノカト云フヤウナ、已ムヲ得ナイ問題モ起ッテ來ル、ソコデ私共ハ之ヲ義務教育費ト云フ立場カラデナク、寧ロ農村問題ト云フモノト關聯シテ、モウ少シ増額ヲシナケレバナラヌデアナイカト云フコト、ソレカラ義務教育ト云フ根本觀念カラ致シマシテ、所謂大和魂ナリ、或ハ忠君愛國ト云フヤウナ、日本國民トシテ確ッカリ有ッテ居ラナケレバナラヌ所ノ魂ヲ打立テル事業固メデアル、此大事ナ教育ヲスルト云フノニ、貧乏町村ト富裕ナル町村トデハ、所謂教師ノ素質、或ハ校舍ト云フヤウナ色々ノ點ニ於テ、非常ニ懸隔ガアルト云フコトハ、洵ニ是ハ宜シクナイコトデハナイカ、寧ロ義務教育ト云フモノハ、大體

カラ言フナラバ、國ガヤルベキ最モ大キナ事業デヤナイカ、所謂義務教育ノ機會均等ト云フヤウナ立場カラ致シマシテモ、是ハ國家ガ餘程力ヲ入レテヤラナケレバナラヌ問題デハナイカ、此二ツノ建前カラ本案ヲ大體出シテ居ルノデアリマス、今日ノ農村ノ狀態ガドウ云フ狀態デアルカト云フコトハ、此處デ私ガ改メテ申上、ゲル迄モナイコトデアリマシテ、殆ド窮乏ノド底ニ陥ッテ居ルト云フヤウナコトニナッテ居ル、所ガ其窮乏ノド底ニ陥ッテ、各町村ガ非常ニ困ッテ居ルト云フヤウナコトノ一番大キナ障害ハ何デアルカト言ヘバ、義務教育費ノ負擔ト云フコトガ其大部分ニナッテ居ル、都市、富裕町村等ニ於キマシテハ、義務教育費ガ町村ノ總歲出ノ僅ニ八分ヤ一割内外デアルニ反シマシテ、貧弱町村等ニ於キマシテハ、三割乃至五割ト云フモノガ、義務教育ノ爲ノ歲出ニナッテ居ルト云フヤウナコトヲ考ヘタ場合ニ於キマシテ、此義務教育費ト云フモノガ、如何ニ農村ノ負擔過重ノ因ニナッテ居ルカト云フコトハ明デアリマス、勿論農村問題ハ義務教育費ダケノ解決ニ依ッテ、全部ガ解決サレルモノデアリマセヌ、素ヨリ行政組織ノ改革モ必要デアリマセウ、税制ノ改革等モ必要デアリマセウ、併シ此

負擔過重ノ一番大キナ點トモ稱スベキ點ガ、義務教育費ニアリト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、農村問題解決ノ手段トシテ、此教育費ニ付テ國家ガ何トカシテヤルト云フ考ヲ有タナケレバナラヌコトハ、是ハ第一ノ要點デアルト私ハ考ヘテ居リマス、税制整理ト云フヤウナコトヲ能ク言ヒマスケレドモ、是ハ本會議デモ述ベマシタガ、貧弱ナル町村ニハ地租ヤ營業收益税ト云フモノハ餘リナイ、殊ニ營業收益税ノ如キハ都會地ニ多イ、山ノ中ニハナイ、又地租ト云フモノモ其通りデ、富裕ナル農村ノ方ニハ餘計地租ガアルガ、山村トカ漁村トカ云フモノニハ地租ハ餘リナイ、隨テ國稅ノ委讓ト云フヤウナコトニ依ッテハ、窮乏農村ノ困苦ト云フモノハ、是ハ救ヒ得ナイ譯デアリマス、サウ云フ譯デアルト同時ニ、義務教育ト云フモノハ、國民ノ思想ノ根柢ヲ培養スルモノダ、隨テ政府ガ其全責任ヲ持ッテモ宜シイト云フヤウナ建前カラ致シマシテ、茲ニハ義務教育費中ノ教員俸給ヲ全額負擔スルト云フ目當ヲ以テ、昭和十年度ヨリ昭和十二年度マデ、毎年八千萬圓ヲ國庫ヨリ支出スルト云フコトニ致シタノデアリマス、サウシテ此八千萬圓ヲ出シタノハ勿論生徒ノ數、或ハ町村ノ教員數ト云フヤウニ、

大體今日決メラレテ居リマス政府提出案ノ方法ニ依ッテ、各市町村間ニ分配ヲ致スノデアリマスガ、其分配シタモノハ、ソレダケ歲入ノ増加ヲ市町村デ來シマス、其増加額其モノハ直チニ最モ不適當ト認メラレル所ノ市町村稅ノ撤廢、又ハ輕減ニ充ツト云フコトガ、負擔輕減ト云フ意味カラ考ヘマシテ、極メテ必要デヤナイカ、ソレニハ茲ニサウ云フ事ヲヤルコトノ效果ガアルト云フ實例ニ付テ、一寸申上ゲテ置キマスガ、昭和五年ニ政府ハ教員俸給ノ増額ノ爲ニ一千万圓ヲ支出致シマシタ、其一千萬圓ヲ支出ヲ致シマシタガ爲ニ、昭和五年ニ於ケル農村ノ國稅百ニ對スル負擔ノ割合ト云フモノハ甚シク減ッテ居ル、昭和三年ハ國稅百ニ對シマシテ農村ノ地方稅、府縣稅ト町村稅ノ負擔ハ二百九十六ニナツテ居リマス、昭和四年ハ二百九十八ト上ツテ居リマス、ソレガ昭和五年ハ二百八十一ト減ッテ居リマス、ソレガ昭和六年ニハ又三百八、昭和七年ハ三百六十六、昭和八年ハ三百二十五、斯ウ云フ風ニ上ツテ居リマスガ、是ハ段々ト農村ガ疲弊困憊ノ極ニ達シテ行く道程ヲ能ク現ハシテ居ルト思フ、其中昭和五年ニハ段々斯クノ如ク上ル趨勢ニアルニ拘ラズ、一千万圓ノ教員俸給ヲ國庫ガ負擔シテ、餘裕金ヲ

以テ負擔ノ輕減ニ充テマシタ結果、二百八十一ト云フコトニ減ッテ居ル、此現象ヲ考ヘマシタ場合ニ於テ、所謂義務教育費ヲ國家ガ負擔シテヤッテ、之ヲ基トシテ負擔ノ輕減ニ充當スル場合ニ於テ、如何ニ農村ノ窮乏ヲ救フ效力ガ多イカト云フコトハ、之ニ依ッテモ明ニ證明ヲサレルト思フノデアリマス、サウ云フ目的ノ爲ニ出スノデアリマスカラ、文部大臣ハ此金ヲ使フ場合ニ於テハ、嚴格ナル使途命令ヲ出シマシテ、所謂惡稅或ハ非常ニ高イ税金ノ輕減ニ充テシムルト云フヤウニシマシテ、若モ此命令ニ違反ヲシタ場合ニハ、文部大臣ハ之ヲ返還セシメ、又ハ交付セザルコト、爲スト云フヤウニ、嚴格ニ其使途ヲ決メヨウトスルノガ本法律案デアリマス、左様ナ譯デ提出致シマシタノデアリマスカラ、ドウカ皆様方ノ御協贊ヲ御願致ス次第デアリマス

○木村委員 今ノ中村君ノ御提出ニナリマシタ法案ニ付テ、私共御尋シタイ事ガアリマスガ、是ハ後ニ御廻シニナッたらドウカト思ヒマス

○川口委員長 デハソレハ後廻シヨシマシテ、幸ヒ大藏大臣モ見エマシタカラ、大臣ニ向ッテノ質問ヲ繼續致シマス

○木村委員 私ハ文部大臣ニ二三御尋致シ

マスレバ、ソレデ文部大臣ニ對スル質問ハ濟ミマス、併シ其事ハ大藏大臣ニモ御聽キヲ願ッテ置イテ、最後ニ一ツ大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、サウ云フ順序ヲ進ミタイト思ヒマス、私ハ本會議デ——是ハ大藏大臣ハ丁度其時ハ御差支ガアッテ、御見エニナツテ居リマセヌデシタガ、本會議デ災害町村ノ中デ新ニ特別町村ニ九年度、十年度ニ於テ認定サル、モノハ、少クトモ二千以上ヲ越ユルデアラウ、從來災害町村デ貧弱町村トシテ、既ニ特別町村ニナッタモノモアリマスガ、ソレハ除イテ、災害町村ノ中デ新タニ災害ノ結果、特別町村ニ認定セラレルモノハ二千以上ニ上ルデアラウ、サウスルト恐ラク九年、十年ハ一萬ニ達スルニ違ナイ、然ルニ文部當局ハ八千見當ニ特別町村ヲ頭カラ御考ニナツテ居ル、サウ云フ所ニ非常ニ無理ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、詰リ町村ノ實情ニ即シテ、或ハ七年、八年ト云フヤウナ特別町村ノ認定標準ニ依ラズシテ、八千ト云フコトヲ頭カラ御考ニナツテ特別町村數ヲ御決メニナル、サウ云フ所ニ行政ノ實際ノ上ニ於テ非常ニ無理ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、材料ヲ頂戴シテ調べテ見マスルト、果シテ私ガ言

フ通りニナッテ居ル、私ハ大藏大臣ニ御聴キ
 フ願ヒタイト思ヒマスガ、特別町村ノ認定
 標準ノ九年度ヲ私ガ要求シテ八年度ト比較
 シテ見マスルト、非常ニ認定標準ガ酷ニナッ
 テ居ル、例ヘバ八年度直接國稅ノ調停濟額
 一戸平均額ガ、ドウナッテ居ルカト言フト
 九圓四十三錢二厘デ、此九圓四十三錢二厘
 ニ達セザル町村ハ、特別町村ニスルト云フ
 一ツノ要件ニナッテ居ル、所ガ九年度ハド
 ウサレタカト言フト七圓六十七錢四厘デ、
 一圓七十五錢八厘ダケ低下サレテ居ル、條
 件ヲムヅカシクサレテ居ル、ソレカラ直接
 國稅調停濟額一圓ニ對スル特別稅戶數割ノ
 調停濟額ハ、八年度ハ一圓四十三錢七厘ヲ
 超過スル、斯ウ云フコトガ條件ニナッテ居リ
 マスルガ、九年度ハ一圓七十五錢一厘デ、
 三十一錢四厘ヲ御上ゲニナッテ居ル、是モ條
 件ヲムヅカシクサレテ居ル、ソレカラ更ニ
 町村稅調停濟額一圓ニ對スル町村立尋常小
 學校教員俸給ノ決算額ハ、八年度ハ五十四
 錢二厘ヲ超過スルト、斯ウ云フコトニナッ
 テ居ルガ、九年度ハ六十一錢五厘ヲ超過ス
 ルコト、是モ七錢三厘ヲ御上ゲニナッテ居
 ル、斯ノ如ク八年度ト九年度ヲ比較致シマ
 スルト、ズツト特別町村ノ認定標準ヲムヅカ
 シクサレテ居ル、サウシテ特別町村ノ數ヲ

御減シニナッテ居ルト云フ結果ニ相成ッテ居
 ルノデアリマス、是ハ特別市ノ認定標準ニ
 付キマシテモ、全然同様デアリマスルカラ、
 是ハ時間ヲ省キマス爲ニ申上ゲマセヌ、斯
 様ニ八年ト九年トノ間ニ特別町村ノ認定標
 準ヲ、ズツト酷ニサレナクチャナラヌヤウナ
 破目ニ陥ッテ居ル、是ハ何故ニ斯ノ如ク特別
 町村ノ認定標準ヲ、八年ト九年ト又十年、
 斯ウ云フ風ニ酷ニサレナクチャナラヌカ
 ト云フ理由ハ、財政的ニ申シマスト私共ハ
 殆ド御辯明ニナル言葉ガナイデヤナイカ、
 全然理由ガナイデヤナイカ、結局ハ私共ガ
 考ヘルト金ガ減ッタカラ斯ウスルヨリ外ニ
 ナイト、斯ウ云フ御説明ヨリ外ニナイト思
 フ、唯政府ノ都合ニ依ッテ此特別町村ノ認
 定標準ヲ擅ニ變更サレル、斯ウ云フ結果ニ
 相成ッテ居ルノデヤナカラウカト思ヒマス、
 是ハ私共常識カラ考ヘマス、ドウシテモ
 一萬ニ達シナクテハナラナイノニ、九年度
 ハ八千何ガシニナッテ居リ、十年度モ先程當
 局ノ御答辯ニ依ルト、矢張り相變ラズ八千
 ニスル、斯ウ云フコトデアッタ、而モ先程文
 部大臣ハ御不在デアリマシタガ、段々御聞
 キシテ行クト、災害町村ノ五千箇町村ニハ
 九年度モ大體同様ニナサレル、サウシテ特
 別町村ニ對スル臨時國庫補助ノ總額ハ八百

十萬圓位ニナリマシテ、今年度ト九年度ト
 比較致シマス、百七十萬圓バカリガ特別
 町村ニ對シテ減ルノデアリマス、サウスル
 ト殘ノ災害町村以外ノ特別町村ノ三千ニ對
 スル補助ト云フモノハ、是ハ非常ニ減額ニ
 ナルシ、大體九年ト同様ニ十年度モ餘程ノ
 減額ニナル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリ
 マス、此私ノ申シマシタ數字ニ付テハ、文部
 大臣ハ或ハ詳シク斯ウ云フコトマデ御調ニ
 ナラズニ居ラレルダラウト思フノデアリマ
 スガ、併シ私ハ御存ジデナクテハナラヌト
 思フ、此處ガ斯ウ云フ問題ノ中心ト思ヒマ
 スケレドモ、斯ウ云フ數字ヲ示シマシテノ
 私ノ説明カラ見マシテ、隨分九年ト十年ノ
 特別町村ノ數ト云フモノハ無理デアアル、斯
 ウ云フコトヲ御認ニナルデアラウト思フノ
 デアリマスガ、此點ハ如何デアリマセウカ
 ○松田國務大臣 數字ノコトデスカラ、先
 ゴ政府委員カラ答辯致サセマシテ、サウシ
 テ私ノ意見ヲ申上ゲマス

レタノデアリマス、即チ前々年度ノ町村ノ
 財政狀態カラ、サウ云フ結論ニナル譯デア
 リマス、ソレカラ特別町村ノ數ガ昨年ハ非
 常ニ災害モ多カッタカラ、モット／＼殖エナ
 ケレバナラヌト自分ハ觀測スル、斯ウ云フ
 御話デアリマスルガ、前年度即チ昭和八年
 度ニ於キマシテハ七千八百四十町村ガ特別
 町村デアッタノデアリマス、私共ノ見ル所ニ
 依リマス、全國一萬千二百餘ノ町村ノ中デ、
 七千八百四十ガ特別町村デアルト云フコト
 ハ、抑、私ハ多過ギルト思フ、是ガ資力貧弱ノ
 町村デアアル、残り僅カ四千足ラズノ町村ガ、
 ドウヤラ斯ウヤラ一人前ノ町村ダト云フコ
 トハ、是ハ本來カラ言ヘバ有り得ベカラザ
 ル狀態デアルト思フ、寧ロ特別町村ト云フ
 モノハ、次第ニ是ハ減ズルヤウニ致シタイ、
 有ユル方法ヲ講ジテ町村ニカヲ付ケテ、資
 力貧弱ト云フヤウナ看板ヲ掲ゲテ居ル町村
 ハ、成ベク少クシタイト云フコトヲ念願ト
 致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ
 本來ナラバ昭和九年度ニ於テハ、前年度ノ七
 千八百四十町村ヲ、モット數ヲ減シタイ積リ
 デゴザイマシタノデスカ、災害等ノ關係ガ
 アリマシテ、之ヲ減ス譯ニ行カナイ、其結
 果昭和九年度ニ於キマシテハ、八千四百十
 ト云フ町村ノ數ガ出テ來タノデアリマス

ガ、是ハ前ニ申上ゲマスルヤウニ、昭和七年度ノ色々ナ狀況ニ物指ヲ當テ、決メタノデアリマスカラ、是ハドウモエライ作爲ヲ用ヒタ譯デハアリマセヌ、此程度ノ町村ハアツテモ致方ガナイ、是レ以上殖エテハ困ル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、ドウカ左様御諒承ヲ願ヒマス

○木村委員 只今普通學務局長ノ御答辯ハ、全然諒解ガ出來マセヌ、一體特別ノ町村ノ認定標準ヲ定メルノハ、昭和七年度ノ直接國稅、特別稅戶數割等ニ依ッテヤルト云フコトハ、是ハ法令デ決マツテ居ルカラ當然ナ話デアリマス、併ナガラ其ノ平均額デアルトカ、或ハ直接國稅調停濟額ノ一圓ニ對スル特別稅戶數割ノ調停濟額デアルトカ、小學校教員俸給ト町村稅調停濟額トノ比率、是ハ只今ノ法令ノ結果出ルコトデハアリマスケレドモ、八年度デ、例ヘバ直接國稅調停濟額ノ一戸平均額ハ九圓四十三錢二厘デスガ、資力ガ薄弱デアアル爲ニ、サウ云フ標準ヲ置ク、是ハ文部當局ガ置クノデアツテ、何モ法令デ斯ウ置クコトガ決マツテ居ル譯デモ何デモナイ、是ハ九年度ノ七圓六十七錢四厘ト云フモノハ、法令ノ結果當然出ルノデハナクシテ、何處ニ標準ヲ置クカト云フコトハ、文部當局ガ御考ニナツテ

宜イ標準デアアル、ソレデ法令ノ結果當然出タノダト云フヤウナ御答辯デハ、私ハ満足ハ致シマセヌ、ソレガ今迄ハ多過ギタ、斯ウ云フ仰セハ今迄ノ千二百萬圓出シテ居タモノハ、虛ヲ言ッテ大藏省カラ金ヲ取ツテヤツテ居タト云フコトニナル、是ハ普通學務局長トシテハ無責任ナ言葉デアアル、一體九年ナリ十年ナリヲ減ラシテ宜イカドウカト云フコトハ、町村ノ實情ニ依ッテ考フベキコトデアツテ、七年、八年ニ特別町村ノ認定ノ數ガ多過ギタノダト云フコトニナリマスナラバ、大藏省アタリデ金ヲ削ラレルノガ當然デアラウト思フ、左様ナ放言ヲナサルナラバ——サウ云フ御考デアルト、文部省ハ一體何ヲ要求シテ居ルカ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、只今ノ御説明ノ點ハ殆ド私ハ諒解スルコトガ出來ナイノデアリマス

○下村政府委員 先以テ直接國稅並ニ特別稅戶數割等ノコトニ付テ、何カ文部省デ裁量ノ餘地ガアルカノヤウナ御話デアリマシガ、是ハ全ク裁量ノ餘地ハアリマセヌ、勅令第一條ノ規定ニ依リマシテ全國平均ヲ割出シテ、其全國平均ガソコニ出テ居ルノデアリマスカラ、是ハ少シモ裁量ノ餘地ハナイ數デアリマス、文部省デ何等ノ作爲ヲ加

ヘタ譯デアリマセヌ、前々年度ノ調査ノ結果サウナルノデアリマスカラ、其點ハ御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ特別町村ノ數ガ多過ギルト云フコトハ、是ハ私一個ノ考デアリマス、特別町村ト云フモノハ、所謂資力貧弱ナル町村ト云フ譯デス、沿革カラ申シマシテモサウデス、サウ云フ町村ガ全國ノ町村ノ三分ノ二以上アルト云フコトハ、決シテ好マシイコトデアアリマセヌ、之ヲ成ベク減少サシタイ希望ヲ有ツテ居ルト云フコトナノデアリマス、成ベク財政ノ健全ナル町村ヲ多クシタイト云フ考ヲ申述ベタノデアリマス、ソレハドウゾ左様ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○松田國務大臣 大體下村政府委員ノ答辯デ盡キテ居ルト思ヒマス

○木村委員 從來特別町村デ九年度ニ普通町村トナリマシタモノハ、御提出ノ材料ニ依リマスト百九十箇町村トナツテ居ル、私ハ是ハ實ハ非常ニ少ナ過ギルト思フ、或ハ誤リデヤナイカト思フ、若シ是ガ正シイトシマスナラバ、第一號標準ニ依ッテ除外サレタモノ、大部分ガ、第二號標準ニ依ッテ特別町村トナツテ、同ジ條件デアアルニ拘ラズ、

新タニ特別町村ニ認定セラレナカッタ多數ノモノガ他ニ殘ッテ居ルト云フコトヲ、是ハ私ハ物語ッテ居ルト思ヒマス、詰マリ今日マデ特別町村デアッタモノ、普通町村ニ變ッタモノガ百九十、斯ウナツテ居ル、是ハ吾々常識デ考ヘテ少ナ過ギル、サウスレバドウカト云フト、第一號標準ニ當ラナカッタモノハ、第二號標準ノ方デ、從來特別町村デアッタモノヲ認定サレテ、其結果絕對數ヲ八千何ガシニサレテ居ルノデアリマスカラ、同一ノ條件ナルニ拘ラズ、新タニ特別町村ニスル町村ノ數ガ非常ニ減ッテ居ル、斯ウ云フ風ノ關係ニナツテ居ルト思フノデアリマス、材料ニ依リマスト、普通町村デアッタモノガ、新タニ特別町村ニ認定セラレタノガ四百九十トナツテ居リマス、是ハドウモ少ナ過ギルノデヤナイカ、サウシテ十年度ニ於テハ八年度マデ特別町村デアツテ、サウシテ普通町村ニナリマシタモノハ、臨時國庫補助ト云フモノガ四分ノ一ト大體ナルト思ヒマスガ、更ニ先程ノ御説明デ四分ノ一以下ニナルノガアルノデヤナイカ、斯ウ思フ、今迄特別町村デアッタモノガ、普通町村ニナツタノハ四分ノ一以下ニナルト思フ、ソレカラ又普通町村ハ二分ノ一ノ補助ニ相成ル、半額ニナル、斯ウ云フ結果ニナルト思ヒ

○木村委員 從來特別町村デ九年度ニ普通町村トナリマシタモノハ、御提出ノ材料ニ依リマスト百九十箇町村トナツテ居ル、私ハ是ハ實ハ非常ニ少ナ過ギルト思フ、或ハ誤リデヤナイカト思フ、若シ是ガ正シイトシマスナラバ、第一號標準ニ依ッテ除外サレタモノ、大部分ガ、第二號標準ニ依ッテ特別町村トナツテ、同ジ條件デアアルニ拘ラズ、

マスガ、此點ハ文部當局ハ御認メニナルト
思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○下村政府委員 普通町村カラ特別町村ニ
ナリマスルモノガ四百九十、ソレカラ其逆
ニ特別町村カラ財政ノ状態ガ良クナリ、普
通町村ニナルノガ百九十、差引三百ノ特別
町村ガ殖エルト云フコトハ、只今木村サン
ノ仰セニナツタ通りデアリマス、是ハ木村君
能ク御承知ノ詳シイ標準ニ依リマシテ審査
ヲ致シマシタ結果ガ、斯様ニナルノデアリ
マシテ、色々ノ觀測ノ仕方モアリマセウガ、
文部省ガ從來大藏省、内務省、農林省ト協
定ヲ致シテ決メテ居リマスルノ標準ニ依
リマスルト、マア斯様ナ結果ガ出テ來ルノ
デアリマス、ソレカラ配當金額ノ實際ノ異
動ト云フコトニ付キマシテハ、大體木村君
ノ御述ニナリマシタ通りノ結果ニナルカト
思フノデアリマスガ、是ハ元ノ金ガ已ムナ
キ事情デ減ツタノデアリマスカラ、成ベク災
害町村ニハ厚クシテ、他ニハ出來ルダケノ
コトヲシテ、餘リ大キナ打撃ヲ與ヘナイヤ
ウニ努メルト云フコトヨリ致シ方ガナイト
思ッテ居リマスガ、此點ハ先刻申上ゲタ次第
デアリマスガ、ドウカ左様御諒承ヲ願ヒマ
ス

○木村委員 只今當局モ昭和八年度マデ特

別町村デアツタモノガ、九年度、十年度普通
町村ニナツタモノハ、殊ニ十年度ニ於テハ臨
時國庫補助ハ四分ノ一以下ニナリ、普通町
村ハ二分ノ一以下ニナルコトヲ大體御認ニ
ナリマシタ、是ハ實際計算ヲスルト左様ニ
相成ルノデアリマス、此事ハ町村ノ財政ノ
上カラ申シマシテモ、國民教育上最モ私ハ
憂フベキコトデアルト思ウテ居リマス、本
會議デモ申述ベタ通りデアリマス、ソコデ
此三百萬圓ノ減收ニ依ツテ生ズル町村ノ歲
入減ハ、如何ニシテ處理セラレルノデア
ルカ、斯ウ云フ問題デアリマス、私ハ先程高
等小學校ノ廢止トカ、或ハ高等小學校ヲ簡
易ト青年學校ニ變更スルトカ云フヤウナコ
トヲ申シマシタガ、文部當局モサウ云フコ
トハヤラシクナイ、斯ウ云フ御考デア
ルトドウナルカト云フコトニナルノデア
リマスガ、是ハ増税ニ依ルカ、教員ノ減
リカ、此二ツニ依ル外ニ私ハナイト思フ、増税ニ
依ルカ、教員ノ減リ——教員ノ減リト云フ
ノハ二部教授ヲシテ教員ノ數ヲ減ジ、或ハ
正教員ヲ廢メテ代用教員ニシテ、安イ月給
ノ者ヲ教員ニスル、斯ウ云フコトニ依ル外
ニナイト思ヒマスルガ、文部大臣ハ此點ヲ
ドウ御考デアリマスカ、増税ヲヤラセル御
考デアリマスカ、教員ノ減リヲヤラセルト

云フ御考デアリマスカ、御伺致シタイト思
ヒマス

○松田國務大臣 今木村君ノ御質問デアリ
マスガ、サウ云フヤウナ事ニハ私ハナラヌ
ヤウニ努力シテ見タイト思ッテ居リマス

○木村委員 ナラヌヤウニ努力セラレルト
申シマシテモ、先程普通學務局長ガ申シマ
シタヤウニ、從來特別町村デアツタモノデ普
通町村ニナルモノハ、國庫補助ガ四分ノ一
ニ減セラレル、普通町村デアツタモノハ、十
年度ニ於テハ二分ノ一以下ニナル、町村歲
入減ト云フコトハ明瞭ニナリマスルカラ、
ドウシテモ文部大臣ガ、歳入ノ減ニ對シテ
ノ御所見ガナケレバ——對策ガナケレバ、
左様ニナラヌヤウニハナラヌデヤナイカト
思フノデアリマス、何か御考ガアレバ御伺
致シタイト思ヒマス

○松田國務大臣 文部省トシマシテハ、サ
ウ云フコトハ出來ナイヤウニ、私ハ努力シ
タイト思ヒマス

シテ御在職中デアリマシタカラ、十分御承
知ノコトデアラウト思ヒマス、色々ナ時局
匡救對策ガ講ゼラレマシテ、時局匡救費ノ
爲ニハ、五億二千餘萬圓カラ支出サレマ
シタノデアリマス、其中ニ此臨時國庫補助
金ト云フモノハ、三年ヲ通ジテ三千六百萬
圓デアリマスルケレドモ、是ガ全國ノ町村
ニ普遍的ニ行渡リ、非常ニ效果的デアツタ
云フコトハ何人モ認メテ居ル所デアツテ、非
常ニ國民全般ガ感謝シテ居ル施設デアルト
思ヒマス、其點カラ申シマスルト、土木事
業ナドガ多額ノ經費ヲ費シナガラ、一向町
村民ノ懐ロモ潤サヌ、却テ部落間ニ事業ノ
配當ナドガ宜シキヲ得ズシテ惡感情ヲ誘發
シテ、又町村ノ負債ヲ殘シテ居ル、起債ノ
重荷ヲ殘シテ居ル、斯ウ云フヤウナ結果ニ
ナリマシタノト較ベマスルト、此臨時國庫
補助ハ町村ノ財政ノ危機ヲ救フト同時ニ、
國民教育ノ危機ヲ救フ、斯ウ云フ結果カラ
見マシテ、非常ニ效果的デアツタト云フコト
ヲ、國民一般ガ感ジテ居ルノデアリマス、
隨テ此臨時國庫補助ト云フモノハ、當時大
藏省ト文部當局ト交渉致シマス時ニ、是ハ
後年度ニ繼續スベキモノデアアル、斯ウ云フ
方針ノ下ニ最初文部省ハ三千萬圓ヲ要求致
シマシタ、是ハ教員ノ俸給即チ經常費ノ補

ハ、大藏大臣モ齋藤内閣ノ時ノ大藏大臣ト

<p>助デアルカラ、後ニ繼續スル性質ヲ有ッテ居ルノデ、出來ルダケ少クシナクチャナラヌト云フヤウナコトニナッテ、千二百萬圓ニ減額サレタ経緯ヲ有ッテ居ルノデアリマス、時局匡救ノ關係カラ七年、八年、九年ノ三箇年ニハナッテ居リマスルケレドモ、併シ是ハ後ニ繼續スベキモノデアルト云フコトハ、當初カラ豫定ヲセラレテ居ッタ問題デアリマス、然ルニ此度此千二百萬圓ヲ九百萬圓ニ減ゼラレテ、十年度限りニセラレタト云フ所デ問題ガ生ジテ居ル譯デアリマス、ソコデ今日マデ文部大臣又内務大臣ニモ、本會議デ御質問ヲ致シマシタガ、此千二百萬圓ノ中デ實ハ六百萬圓ダケガ地方財政ノ見地カラ繼續ヲサレテ居ルノデアリマシテ、後ノ三百萬圓ハ災害對策ト云フヤウナコトデ、豫定經費要求書ノ中ニ要求ヲサレテアリマス、サウスルト地方財政ハ好轉ヲシタト見ルノカドウカ、斯ウ云フ御質問ヲ致シマスルト、文部大臣ハ地方財政ノ窮乏ニ付テハ私モ窮乏シテ居ルト思ッテ居ル、内務大臣モ地方財政ノ狀況ハ決シテ好轉シテ居ルトハ考ヘナイ、今日ノ地方財政ハ決シテ此儘ニシテハ置ケナイ狀況ニ相成ッテ居リマス云フコトヲ申サレナガラ、サウシテ是ハドウモ財政上ノ關係カラ今度ノヤウナ金</p>	<p>額ニナッテ、洵ニ已ムヲ得ナイト云フコトハ、是ハ文部大臣モ内務大臣モ一致シテ、財政上ノ都合ダケデ御説明ニナッテ居リマス、教育上カラハ文部大臣ハ是非ハ千二百萬圓ニシナクチャナラヌ、内務大臣モ地方財政ノ狀況ハ此儘ニシテ打棄ッテ置ケヌト、斯ウ仰シヤラレテ地方財政上ノ方面カラモ之ヲ九百萬圓ニスル理由ハ毛頭ナイ、併シ洵ニ財政上カラ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、實ハ大藏當局ノ御考ニ依ッテ、斯ウ云フ金額ニ決ッテシマッタヤウニ、私共ハ本會議ニ於キマシテモ、豫算委員會ニ於キマシテモ承ッテ居ルノデアリマス、是ハ何時カ豫算總會ニ於テ大藏大臣ハ御聞キデアッタト思ヒマス、文部大臣ガ率直ニ實ハ自分モ千二百萬圓ニシタカッタノダ、其必要ハ認メテ居ルノダ、併シ財政上ノ都合デイカナカッタ、自分ノ微力ノ結果ダトカ云フヤウナコトヲ申サレタコトハ、其當時大藏大臣モ彼處ヘ御出席ニナッテ居ッタカラ、能ク御聞キデアッタト思ヒマス、サウ云フ狀況ニナッテ居リマス、ソコデ十年度マデトセラレタ理由モ御伺致シマスルト、今日マデ殆ド十年度マデニセラレタ理由ト云フモノハハッキリ致シマセヌ、是ハ十一年以降ノコトハマア其時ニナッテ考ヘヨウ、斯ウ</p>	<p>云フヤウナ御考デアッテ、十一年度以降ハ臨時國庫補助ハ要ラヌト云フ御考モアリマセヌ、ソレカラ十一年以降ノコトハ對策ヲ十一年度中ニ考ヘルンダ、斯ウ云フ御考モアリマセヌ、唯漫然ト十一年度以降ノコトニ付テハ、豫算編成ノ時ニナッテ考ヘルンダ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマス、併シ私共ハ苟モ法律トシテ制定ヲサレル以上ハ、法律ヲ作ラレル以上ハ、唯十一年度以降ノコトニ付テ確定シタ見透シヲ御有チニナラズシテ、漫然ト法律ヲ十一年度限りニスルト云フヤウナコトハ、立法權ヲ或點カラ云フト弄ブ考デアル、法律ト云フモノヲ餘リニ輕々シク御取扱ニナル嫌ガアルト思ヒマス、サウ云フ點カラモ私共ハ十年度ト云フコトニ付テハ、政府ノ御方針ガハッキリシテ居ナイ、不可解ニ感ジテ居ル點デアリマス、ソレカラ災害對策トシテ三百萬圓ガ此中ニアリマスガ、内務、農林ノ災害對策ハ九年、十年、十一年ノ三箇年ニ互ッテ居リマスルガ、ドウシテ文部省ノ災害對策ト銘打ッテ豫定經費要求書ニ書イテアルノハ、十年度限りニナッテ居ルカト云フ御説明ヲ聽キマシテモ、是モハッキリ致シマセヌ、イヤハ九百萬圓ト同ジコトダ、斯ウ云フヤウナコトデ、他ノ省ト</p>	<p>居リマス、先程此九百萬圓ニナッテ配當ガドウナルカト云フコトニ付テハ、大藏大臣モ御聽キデアリマシタカラ、ソレニ付テハ私此處デ御説明ハ申上ゲマセヌガ、各町村デ補助ヲ受ケルノガ隨分減ルノデアリマス、而モ是ガ經常費デアリマシテ、サウシテ此立法ガ出來ル原因ト云フモノハ、小學校教員ノ俸給ノ不拂、延滞、寄附ノ強制、斯ウ云フ國民教育ニ非常ニ重大ナル關係ガアルカラ、ソレヲ打棄テハ置ケヌト云フヤウナコトデ、此法律案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、ドウモ四分ノ一ニナルトカ、二分ノ一ニナッテ之ヲ放任シテ置ク譯ニハ私ハ參ラスノヂヤナイカ、外ノ經費ト餘程性質ガ違ヒハシナイカ、色々ナ教育上憂フベキ問題ヲ惹起スルノヂヤナイカト云フコトヲ心配シテ居ル次第デアリマス、ソコデ此前本會議デ實ハ大藏大臣ニモ御尋ネ致シタカッタノデアリマスガ、藤井前藏相ノ時ニハ所謂健全財政主義ト云フ、サウ云フ所ニ一ツノ財政方針ヲ立テラレテ、サウシテ公債ハ漸減シタイ、赤字公債ナドハ五億圓臺ニ止メタイ、而モ一方ニ於テ國防費ガ多額ニナルニ隨テ各省ノ支出ハ出來ルダケ之ヲ節減シナクチャナラヌ、サウ云フ御方針カラ致シマシテ九百萬圓ニナッテラウト思ヒマス、私</p>
---	--	---	--

ハ文部大臣ガアノ場合ニ於テ、九百萬圓ヲ出サレコトニ御努力ニナツタ點ニ付テハ、衷心カラ其御努力ニ對シテ感謝スル者デアリマスケレドモ、併ナガラ先程カラ申シマスルヤウナ點カラ考ヘテ、九百萬圓デハ千二百萬圓從來貫ッテ居ッタ關係上、非常ニ經常費ノ關係カラ町村ノ歳入減トナッテ困ル結果ヲ生ズル、私ハ結局之ヲ此儘ニシテ放任シテ置クナラバ、町村税ノ増税カ誠首カ其二者一ヲ選バナケレバナラス、併シ今日増税ノ出來ナイト云フコトガ農村ノ狀況カラ明瞭デアリマス、教員ヲ減ルコトモ私ハ出來難イコトデヤナイカト考ヘルノデアリマス、藤井前藏相ノ時ニハ、三百萬圓ハ文部大臣ノ説明セラレルヤウナ財政上ノ都合デアツタカモ知レマセヌガ、併シ今日ハ先般内務、農林其他ノ要求等ニ依リマシテ、第二豫備金ヲ以テ千五百萬圓モ増額サレタ、斯ウ云フ點カラ考ヘルト、高橋藏相ニ於カレテハ唯財政上ノ都合ト云フコトデ九百萬圓ニシタイト云フ、斯ウ云フ藤井前藏相ノヤリ方ヲ是認セラレルモノデハナカラウ、高橋藏相ハ教育上必要ナ經費デアッテ、眞ニ已ムヲ得ナイ經費デアレバ、財政各般ノ状態ヲ考慮シテ、適當ナル對策ヲ立テルニ決シテ各デナイ御方デアルト考ヘテ居ル

ノデアリマス、隨テ私ハ文部大臣ニモ、何故今日三百萬圓ノ増額ヲ追加要求サレナカッタコト云フコトヲ質問シタノデアリマサガ、追加要求ハ致サナイ、併シ非常ニ困ルト云フ問題ガ起ツタナラバ、第二豫備金ノ問題ニ付テ閣議ニ於テ十分意見ヲ述ベテ見タイト云フコトモ申サレテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、甚ダ長クナリマシタケレドモ、大藏大臣ハ先般本會議ニハ御出席ニナラナカッタノデアリマスカラ、私ハ其大要ヲ申上ゲテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

テ其事ヲ大藏大臣モ、十分御認メニナッテ、文部大臣ガ其決心デアレバ、自分モ考ヘルノダト云フヤウナ御答ト解釋シテ差支ナイト考ヘマスカラ、只今ノ大藏大臣ノ御答辯ニ私ハ満足致シマス、是非此問題ハ單ニ町村財政ノ問題ノミナラズ、教育上ノ重要ナル問題ヲ含シテ居ルノデアリマスカラ、唯財政上ノ都合ト云フヤウナコトデ、大藏大臣ガ御斥ケニナラナイト云フ事ダケハ、ハッキリ致シタト思ヒマス、私ハ只今ノ大藏大臣ノ御答辯ニ敬意ヲ表シテ置キマス

ニ於キマシテハ、支給人員ガ二萬五千二百一十七人、金額ニ於キマシテ三百二十七萬五千三百九十八圓、一寸前年ヨリハ支給額ガ減ッテ居リマス、ソレカラ昭和八年ニ於キマシテハ、支給人員ガ二萬七千二百五十九人、金額ハ三百四十八萬三千三百六圓、是ガ年功加俸支給ノ最近ノ狀況デアリマス

見ヲ伺ヒマス

○高橋國務大臣 木村君ノ御意見ハ御意見トシテ能ク承ッテ置キマス、今ノ問題ハ結局アナタハ大藏大臣ニ御尋ネニナツタガ、大藏大臣ハ直接此處デ御答スル譯ニハ行カナ

○川口委員長 モウ別ニ御質問ハアリマセヌカ

○川口委員長 ソレデハ別ニ質問モナイヤ

イ、殊ニ文部大臣ノ御話ニナツタ愈、イケナイト云フ場合ニハ、即チ能ク言フ實情ニ即シテ已ムヲ得ヌ事ガアレバ、ソレハ考慮スル、處置スル御決心ガ文部大臣ニモアルコト、思ヒマス、其邊デ御安心ナサルヨリ外仕方ガナイ

○木村委員 只今ノ大藏大臣ノ御答辯

○木村委員 年功加俸ノ事ニ付テ材料ヲ要求シテ置キマシタガ、御提出ニナッテ居リマセヌガ、大體ノ狀況ヲ一應御話願ヒタイ

○下村政府委員 只今木村君ノ御述ベニナリマシタ材料ハ、漸ク仕上ゲマシテ、今差上ゲルバカリニナッテ居リマス、若シ簡單ナ事デ宜シケレバ只今御説明致シマス——ソレデハ最近三箇年間ニ於ケル公立學校職員年功加俸ノ支給狀況ハ、ドウナッテ居ルカト云フコトヲ御説明申上ゲマス、昭和六年ニ於キマシテハ、支給人員ガ二萬三千三百八十九人、支給ノ金額ニ致シマシテ三百二十七萬八千五百五十八圓、ソレカラ昭和七年

昭和十年三月九日印刷

昭和十年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社